

美馬市会場(四国大学西部SSO)

美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1
美馬市地域交流センターミライズ 2階 集いのハコ1・2
TEL 0883-53-2419



配信講座サテライト会場

※「配信講座」とは、遠方の方にもご参加いただけるよう、美馬市会場で行われる講義を下記のサテライト会場にリアルタイムで動画配信し、スクリーンにて受講いただくものです。申込み時は受講希望場所をご指定ください。

四国大学古川キャンパス会場

徳島市応神町古川字戎子野123-1 TEL 088-665-1300(代)



美来創生

みま学講座



令和元年度 10月▶3月

受講料…無料
1回につき2単位修得できます。



郵便はがき
62円切手
(10月以降63円)
をお貼り
ください

7 7 0 0 8 3 1

徳島市寺島本町西2丁目35-8

四国大学交流プラザ
生涯学習センター事務室 行

美来創生みま学講座のお申し込みは…

- ① 申込はがき
- ② ファクシミリ: 088-602-4861
- ③ 電子申請

右のQRコードを携帯電話で
読み取り、必要事項を入力し
てください。



上記いずれかにより、「四国大学 生涯学習センター事務室」まで、お申し込みください。

注)・申し込みは、なるべく講座7日前までをお願いします。
・各講座とも定員になり次第、募集を終了させていただきます。

問い合わせ先

四国大学 SUDACHi推進室
「美来創生みま学講座」事務局

〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
TEL 088-665-9953 Fax 088-665-9982
E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

あわ検定

第3回

令和2年 2月24日 月・振
13:00~13:50(受付12:00~)

会場 四国大学 共通講義棟
(徳島市応神町古川字戎子野123-1)

参加費 無料 申込み 事前申込制
定員 400名(先着順)

※受験申込書は9月頃から配布いたします。多数のご参加をお待ちしております。
主催 四国大学 SUDACHi推進室「あわ検定」実行委員会



「美馬市生涯活躍のまち」推進に係る「大学連携いきがい支援プログラム」開発等委託事業



美馬市



人が集まる「人」をつくる、大学。

SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

美来創生 **みま学** 講座

美来創生みま学講座は、美馬市での暮らしや地域（自然・歴史・文化等）について学び、美馬市を題材にした学びを深め、美馬市の魅力を再発見していただくことで、美馬市にもっと触れてみたい、住みたい、訪れてみたい想いを持っていただくとともに、誰もが生涯健康で生涯活躍できる暮らしを実現していただくことを目的としています。

講座番号 M1901		
食用藍の可能性 		11/16  13:00～14:30
四国大学 生活科学部 教授 近藤 真紀		

安楽寺の古文書を読む 配信

四国大学文学部 教授 須藤 茂樹

「安楽寺文書」の解説を通じて安楽寺と地域の歴史をみなさんと考えます。第 1 回目に昨年度四国大学文学部日本文学科が行った文化財調査の成果をお話します。

講座番号 M1902	
「御真影略縁起」を読む ～「満足の御影（親鸞聖人自作木像）」～	12/6 金 15:00～16:30
講座番号 M1903	
「三好千熊丸書状」「下間頼亮書状」を読む ～戦国時代の安楽寺～	1/10 金 13:30～15:00
講座番号 M1904	
「東光寺一件」文書を読む ～本末論争から見る江戸時代の安楽寺～	2 / 7 金 13:30～15:00

うだつの町並みと舞中島 配信	
徳島大学 名誉教授 平井 松午 / 徳島大学総合科学部 准教授 塚本 章宏	
阿波九城の一つである脇城と、この脇城の城下町として栄えたのが脇町です。脇町は藍の集散地として発展し、江戸中期～昭和初期の建造物群からなる脇町南町（重要伝統的建造物群保存地区）は、「うだつの町並み」として近世・近代の景観がそのまま残されています。	
また、藍の一大生産地が舞中島であり、今に残る竹林、掻寄堤、高石垣家屋などから往時の姿が偲ばれます。次の3回の講義を通して、「うだつの町並み」で知られる脇町や、文化的景観を有する「舞中島」について考えます。	
講座番号 M1905	
絵図でみる脇城とうだつの町並み (平井)	12/14 ± 13:00～14:30
講座番号 M1906	
吉野川流域の藍作 (平井)	12/21 ± 13:00～14:30
講座番号 M1907	
脇町の建物外観調査 (塚本)	2 / 22 ± 13:00～15:00

美馬市のふるさとことば

徳島大学 名誉教授 仙波 光明 / 奈良大学 教授 岸江 信介

古来より徳島県の方言は関西弁の影響を受けてきた。もともと古いケースとして祖谷には万葉集で用いられた語法などが残っている。吉野川流域の方言も同様に関西方言の影響を受けており、今でもなお、その影響がみられる。本講座では、前半では美馬市を中心に三好市に至る吉野川流域をさかのぼるように伝播し続ける関西方言実態と、後半では脇町で生まれ育った記憶に残る脇町の言葉について解説していきます。

講座番号 M1908

吉野川をさかのぼる関西ことば(岸江)

12/21 土 10:30 ~ 12:00

講座番号 M1909

私の記憶に残る脇町のことば(1)(仙波)

1 / 11 土 13:00 ~ 14:30

講座番号 M1910

私の記憶に残る脇町のことば(2)(仙波)

2 / 7 金 10:30 ~ 12:00



講座開催会場

メイン会場 美馬市会場（四国大学西部 SSO）
地域交流センターミライズ 2 階 集いのハコ 1・2
定員 30 名

サテライト会場 四国大学古川キャンパス会場 N209
定員 100 名

美馬の和傘・和傘の魅力

工房 和傘屋 小林 旅人

和傘って知っていますか？その傘は本当に「和の傘」ですか？日本国内で売られている「和傘」と名の付く傘たちの約9割が偽物だと言う事を知っていますか？日本の文化を語りながら、日本の文化を騙るモノが多くなっています。「和傘」とはどういう物なのか？「伝統」とは何か？美馬で「伝統の和傘」を研究・製作する「日本の和傘屋」からみた「伝統の和傘」を詳しく紹介していきます。

講座番号 M1911

「伝統の和傘」とは(1)

10/18 金 13:00 ~ 14:30

講座番号 M1912

「伝統の和傘」とは(2)

11/15 金 13:00 ~ 14:30

講座番号 M1913

「伝統の和傘」とは(3)

11/28 木 13:00 ~ 14:30

講座申込書

「美来創生みま学講座」受講を申し込みます。
美馬市・四国大学古川から受講希望場所を○で囲んでください。

[illegible]